# 高等部研究　実践報告

高等部研究テーマ

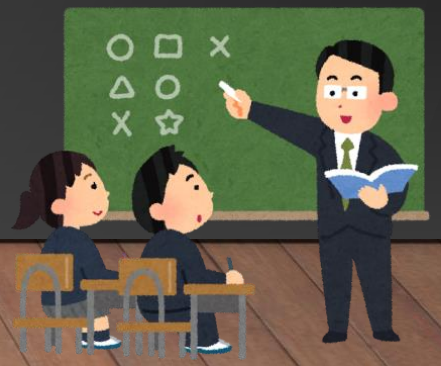
# 指導計画の実践を通じた、
# 指導内容と評価規準の妥当性の検討について

## ～職業Ⅱ／自立活動の授業を通して～

# 高等部研究目標

①指導と評価の一体化に向けて、指導計画や学習内容について検討し、授業改善を図りながら、質の高い学びを目指す。

②授業研究を通して、授業の質や教職員の授業力を向上させる。また、指導計画や評価規準の設定に関することなどについて学部全体で共有し、教職員の指導力と専門性の向上を目指す。



# 研究方法

## ①単元の評価規準と評価に係る検討

・学習指導要領の各教科にある内容のまとまりと目標設定の整理

・単元の内容のまとまりと関連付けた目標の整理、妥当性について検討

## ②職業Ⅱ/自立活動の授業評価における検討

・上記①でまとめた目標、支援方法・活動内容が適切だったか授業実践を通して、授業改善を行う。

# 研究内容及び経過

## ①研究対象授業の選定

・R3「高等部 生徒実態調査表」を活用し、職業Ⅱの学習を通して身に付けさせたい力を検討、明確化

・アンケート結果と学習指導要領をまとめ、「令和４年度高等部　職業Ⅱにおける」を作成。

↓

・単元計画の作成や授業実践を通して、評価規準と「職業Ⅱにおける身に付けさせたい力」が妥当であるか、検討していく。

| | 調査項目 | 判定 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 知識及び技能 | 時計が読める。 | | |
| | 礼儀作法を知っている。 | | |
| | 片付けができる。 | | |
| | 片付けの方法を知っている。 | | |
| | 正しい身だしなみを知っている。 | | |
| | 両手を受かって服を着脱できる。 | | |
| | 服の種類が分かる。（半袖、トレーナー等） | | |
| | スケジュール帳のつけ方（読み方）が分かる。 | | |
| | 基本的ルールやマナーを知っている。 | | |
| | 電車の乗り方を知っている。 | | |
| | 汚れていることが分かる。（気づく） | | |
| | 健康の大切さが分かる。 | | |
| | | | |

令和4年度高等部　職業Ⅱにおける身に付けさせたい力（知的）

| | No. | 項目 |
|---|---|---|
| 1 知識及び技能 | 1 | 正しい身だしなみを知り、作業に適した身だしなみを整える。【身だしなみ】 |
| | 2 | 作業工程、仕事内容、手順など、情報を活用しながら分担箇所を理解し、指示された通りに作業する。【工程理解・指示の理解・情報収集能力】 |
| | 3 | 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、正確な作業を安定して取り組む。【確実性、持続性、巧緻性、準備片付け】 |
| | 4 | 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて安全に正しく使う【道具の扱い、安全】 |
| 2 思考力・判断力・表現力等 | 1 | 誰に対しても丁寧な言葉遣いができ、場に応じた挨拶や返事、お礼を言う。【挨拶・返事・お礼・言葉遣い】 |
| | 2 | 分からないことを質問したり，できたことを報告したりする【質問・報告・連絡・確認】 |
| | 3 | 他者に協力や支援を要請したり、支援やアドバイスを受け入れたりして、協力して作業を行う【協力・支援要請】 |
| | 4 | 時刻や時間を意識し、行なうべきことを判断して実行する。【時間による判断】 |
| 3 学びに向かう力・人間性等 | 1 | 働く意欲をもち、積極的に取り組む【仕事に対する意欲・興味・関心・期待感】 |
| | 2 | 自分の役割を理解し、役割を果たそうとする態度で取り組む【責任感】 |
| | 3 | 時間、内容、作業内容などの変更、音、汚れなどに対応して取り組む【情緒の安定】 |
| | 4 | よりよい製品づくりやサービスへの意欲をもち、具現化するための手段を考案する【創意工夫】 |

令和4年度高等部　職業Ⅱにおける身に付けさせたい力（重複）

| | No. | 項目 |
|---|---|---|
| 1 知識及び技能 | 1 | 提示されたものに気付き、見たり触ったりしながら、素材の感触を受け入れる。 |
| | 2 | 触る、叩く、引くなどの動きで素材に触れながら活動する。 |
| | 3 | 指さしやサイン、声掛けを聞きながら、活動に取り組む。 |
| | 4 | 活動内容がわかり継続して取り組む。 |
| | 5 | 写真やイラスト、手順表などの視覚情報を手掛かりに活動内容を知り、道具や器具を扱いながら取り組む。 |
| 2 思考力・判断力・表現力等 | 1 | 素材に気付き、手を伸ばして関わる。 |
| | 2 | 快不快などの感情を、表情や身振りで表現して伝える。 |
| | 3 | 表情や発声、手を伸ばすなどの動きで活動を選択する。 |
| | 4 | 達成感を感じながら活動する。 |
| | 5 | 手順や道具の操作を自分なりに工夫して取り組む。 |
| 3 学びに向かう力・人間性等 | 1 | 体調や気持ちを安定させ、継続して活動に参加する。 |
| | 2 | 教師や周囲の人からの関わりを受け入れながら活動に参加する。 |
| | 3 | 好きなものを見つけ、活動に興味関心を持ちながら継続して取り組む。 |
| | 4 | 作業に対する達成感を感じ、周囲の人と楽しさを共感しながら継続して取り組む。 |

# 研究内容及び経過

## ② 学期ごとの「身に付けさせたい力」の検討

・各作業班で共通したねらいをもって、単元の計画を作成してもらうために、それぞれの学期でねらう「身に付けさせたい力」の検討を行った。

↓

１学期→指示の理解、工程の理解、身だしなみ　【知・技】

２、３学期→協力、自ら判断して行動する力　【思・判・表】

年間を通して→仕事に対する意欲、自分の役割への責任感　【学】

令和4年度高等部　職業Ⅱにおける身に付けさせたい力（知的）

| | No. | 項目 |
|---|---|---|
| 1 知識及び技能 | 1 | 正しい身だしなみを知り、作業に適した身だしなみを整える。【身だしなみ】 |
| | 2 | 作業工程、仕事内容、手順など、情報を活用しながら分担箇所を理解し、指示された通りに作業する。【工程理解・指示の理解・情報収集能力】 |
| | 3 | 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、正確な作業を安定して取り組む。【確実性、持続性、巧緻性、準備片付け】 |
| | 4 | 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて安全に正しく使う【道具の扱い、安全】 |
| 2 思考力・判断力・表現力等 | 1 | 誰に対しても丁寧な言葉遣いができ、場に応じた挨拶や返事、お礼を言う。【挨拶・返事・お礼・言葉遣い】 |
| | 2 | 分からないことを質問したり，できたことを報告したりする【質問・報告・連絡・確認】 |
| | 3 | 他者に協力や支援を要請したり、支援やアドバイスを受け入れたりして、協力して作業を行う【協力・支援要請】 |
| | 4 | 時刻や時間を意識し、行なうべきことを判断して実行する。【時間による判断】 |
| 3 学びに向かう力・人間性等 | 1 | 働く意欲をもち、積極的に取り組む【仕事に対する意欲・興味・関心・期待感】 |
| | 2 | 自分の役割を理解し、役割を果たそうとする態度で取り組む【責任感】 |
| | 3 | 時間、内容、作業内容などの変更、音、汚れなどに対応して取り組む【情緒の安定】 |
| | 4 | よりよい製品づくりやサービスへの意欲をもち、具現化するための手段を考案する【創意工夫】 |

令和4年度高等部　職業Ⅱにおける身に付けさせたい力（重複）

| | No. | 項目 |
|---|---|---|
| 1 知識及び技能 | 1 | 提示されたものに気付き、見たり触ったりしながら、素材の感触を受け入れる。 |
| | 2 | 触る、叩く、引くなどの動きで素材に触れながら活動する。 |
| | 3 | 指さしやサイン、声掛けを聞きながら、活動に取り組む。 |
| | 4 | 活動内容がわかり継続して取り組む。 |
| | 5 | 写真やイラスト、手順表などの視覚情報を手掛かりに活動内容を知り、道具や器具を扱いながら取り組む。 |
| 2 思考力・判断力・表現力等 | 1 | 素材に気付き、手を伸ばして関わる。 |
| | 2 | 快不快などの感情を、表情や身振りで表現して伝える。 |
| | 3 | 表情や発声、手を伸ばすなどの動きで活動を選択する。 |
| | 4 | 達成感を感じながら活動する。 |
| | 5 | 手順や道具の操作を自分なりに工夫して取り組む。 |
| 3 学びに向かう力・人間性等 | 1 | 休調や気持ちを安定させ、継続して活動に参加する。 |
| | 2 | 教師や周囲の人からの関わりを受け入れながら活動に参加する。 |
| | 3 | 好きなものを見つけ、活動に興味関心を持ちながら継続して取り組む。 |
| | 4 | 作業に対する達成感を感じ、周囲の人と楽しさを共感しながら継続して取り組む。 |

# 研究内容及び経過

## ③評価を行う生徒の選定基準の検討と選定

・授業の評価を行う際、各作業班で共通した課題をもった生徒の評価をするために、アンケートの調査を行った。

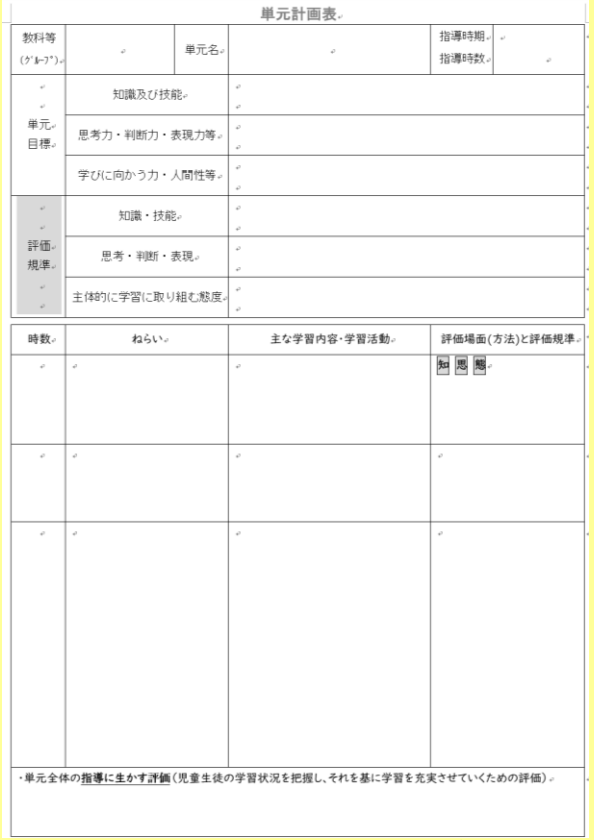
↓

①落ち着き、集中力が少ない生徒
②言語力（報連相が苦手も含む）に課題のある生徒
③１年生から１名、２・３年生から１名選出する

# 研究内容及び経過

## ④単元計画の作成

・研究部から提案した話し合いの観点（目標、活動内容、支援方法、評価規準、次に進むための指導）に沿って、単元の目標や目標を達成するための活動内容などを検討した。

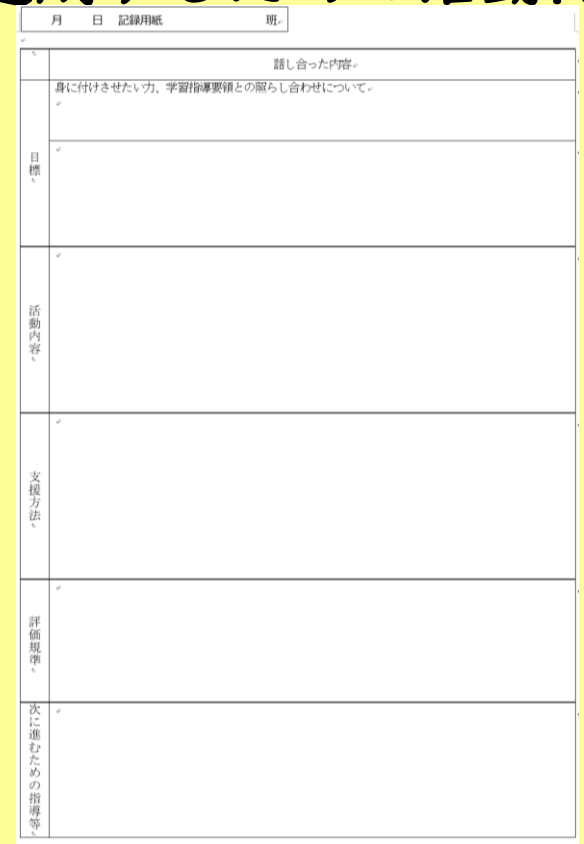


単元計画表

| 教科等（ｸﾞﾙｰﾌﾟ） | | 単元名 | | 指導時期<br>指導時数 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 単元目標 | 知識及び技能 | | | | |
| | 思考力・判断力・表現力等 | | | | |
| | 学びに向かう力・人間性等 | | | | |
| 評価規準 | 知識・技能 | | | | |
| | 思考・判断・表現 | | | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | | | |

| 時数 | ねらい | 主な学習内容・学習活動 | 評価場面(方法)と評価規準 |
|---|---|---|---|
| | | | 知 思 態 |
| | | | |
| | | | |

・単元全体の指導に生かす評価（児童生徒の学習状況を把握し、それを基に学習を充実させていくための評価）



月　日　記録用紙　　班

| | 話し合った内容 |
|---|---|
| 目標 | 身に付けさせたい力、学習指導要領との照らし合わせについて |
| 活動内容 | |
| 支援方法 | |
| 評価規準 | |
| 次に進むための指導等 | |

・生徒の実態を細かく把握し、身に付けさせたい力や目標を設定
・課題を解決するための活動の設定
・卒業後をイメージしながら

# 研究内容及び経過

## ④単元計画の作成

### （１）工芸班

単元計画表

| 教科等（ｸﾞﾙｰﾌﾟ） | 職業Ⅱ 工芸班 | 単元名 | 布製品づくり | 指導時数 | １２時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 単元目標 | 知識及び技能 | | 織物製品において、作業工程や道具の名前、道具の使い方がわかる。 | | |
| | | | 指示された通りに作業したり、作業課題に応じて安全に正しく道具を使ったりする。 | | |
| | 思考力・判断力・表現力等 | | 丁寧な言葉遣いで、進んで質問、報告、相談などを行う。 | | |
| | | | 支援者のアドバイスを素直に受け入れて、自分の課題や次回頑張ることを考える。 | | |
| | 学びに向かう力・人間性等 | | 自分の役割を理解し、役割を果たそうとする態度で取り組もうとする。 | | |
| | | | 教師のアドバイスや支援を受け入れて、よりよい製品になるように工夫しようとする。 | | |
| 評価規準 | 知識・技能 | | 織物製品において、作業工程や道具の名前、道具の使い方がわかっている。 | | |
| | | | 指示された通りに作業したり、作業課題に応じて安全に正しく道具を使ったりしている。 | | |
| | 思考・判断・表現 | | 丁寧な言葉遣いで、進んで質問、報告、相談などを行っている。 | | |
| | | | 支援者のアドバイスを素直に受け入れて、自分の課題や次回頑張ることを考えている。 | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | 自分の役割を理解し、役割を果たそうとする態度で取り組もうとしている。 | | |
| | | | 教師のアドバイスや支援を受け入れて、よりよい製品になるように工夫しようとしている。 | | |

| 時数 | ねらい | 主な学習内容・学習活動 | 評価場面（方法）と評価規準 |
|---|---|---|---|
| | 単元目標と同じ | ○織物製品（コースター、巾着、がま口、鞄、ランチョンマット）<br>【K.M】<br>・フェルトポール作り<br>・身に卓上織り機で織物<br><br>【Aグループ】<br>・織物<br><br>【Bグループ】<br>・ガーランド作り<br>・破いた布のリメイク<br>・ファブリックロープ<br><br>【Cグループ】<br>・加工、ミシン、アイロン | 単元の評価規準と同じ |
| | | SSS・型どり、裁断<br><br>・ABCグループを得意分野などによって分けたり、ローテーションしたりして、分担しながら作業する。 | |

・単元全体の**指導に生かす評価**（児童生徒の学習状況を把握し、それを基に学習を充実させていくための評価）

### （２）サービス班

単元計画表

| 教科等（ｸﾞﾙｰﾌﾟ） | 職業Ⅱ サービス班 | 単元名 | カフェベルの運営 | | ９名 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | １３時間 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | | 正しい身だしなみを知り、作業に適した身だしなみを整える。 | | |
| | | | 作業工程、作業内容、手順など、情報を活用しながら分担個所を理解し、指示された通りに作業する。 | | |
| | | | 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、正確な作業を安定して取り組む。 | | |
| | | | 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて安全に正しく使う。 | | |
| | 思考力・判断力・表現力等 | | 誰に対しても丁寧な言葉遣いができ、場に応じた挨拶や返事、お礼を言う。 | | |
| | | | 分からないことを質問したり、できたことを報告したりする。 | | |
| | | | 他者に協力や支援を要請したり、支援やアドバイスを受け入れたりして作業する。 | | |
| | | | 時刻や時間を意識し、行うべきことを判断して実行する。 | | |
| | 学びに向かう力・人間性等 | | 働く意欲を持ち、積極的に取り組む。 | | |
| | | | 自分の役割を理解し、役割を果たそうとする態度で取り組む。 | | |
| | | | 時間、内容、作業内容などに対応して取り組む。 | | |
| | | | よりよいサービスの意欲を持ち具体化するための手段を考える。 | | |
| 評価規準 | 知識・技能 | | 正しい身だしなみを知り、作業に適した身だしなみを整えている。 | | |
| | | | 作業工程、作業内容、手順など、情報を活用しながら分担個所を理解し、指示された通りに作業している。 | | |
| | | | 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、正確な作業を安定して取り組んでいる。 | | |
| | | | 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて安全に正しく使っている。 | | |
| | 思考・判断・表現 | | 誰に対しても丁寧な言葉遣いができ、場に応じた挨拶や返事、お礼を言っている。 | | |
| | | | 分からないことを質問したり、できたことを報告したりしている。 | | |
| | | | 他者に協力や支援を要請したり、支援やアドバイスを受け入れたりして作業している。 | | |
| | | | 時刻や時間を意識し、行うべきことを判断して実行している。 | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | 働く意欲を持ち、積極的に取り組もうとしている。 | | |
| | | | 自分の役割を理解し、役割を果たそうとする態度で取り組もうとしている。 | | |
| | | | 時間、内容、作業内容などに対応して取り組もうとしている。 | | |
| | | | よりよいサービスの意欲を持ち具体化するための手段を考えようとしている。 | | |

| 時数 | ねらい | 主な学習内容・学習活動 | 評価場面（方法）と評価規準 |
|---|---|---|---|
| ８回 | 単元目標と同じ | カフェの開店準備<br>・カフェの環境整備<br>・ホール、キッチンの仕事の確認<br>・チラシ作り、チラシ配り | 評価規準と同じ |
| ５回 | | カフェの営業<br>・接客<br>・ドリンクやお菓子の提供<br>・会計<br>・片付け | |

・単元全体の**指導に生かす評価**（児童生徒の学習状況を把握し、それを基に学習を充実させていくための評価）

# 研究内容及び経過

## ④単元計画の作成

### （３）農園班

単元計画表

| 教科等（ｸﾞﾙｰﾌﾟ） | 職業Ⅱ 農園班 | 単元名 | 野菜作り | 指導時数 | １３時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 単元目標 | 知識及び技能 | | 作業の目的や手順がわかり、見通しをもちながら取り組む。<br>使用する道具の扱い方がわかり、作業内容に応じて安全に正しく使う。 | | |
| | 思考力・判断力・表現力等 | | 作業が終了したら報告をしたり、困った時に相談したりする。 | | |
| | | | 授業の流れに見通しをもち、友達に協力や支援を求める。 | | |
| | | | 場に応じた挨拶や返事、お礼を言う。 | | |
| | 学びに向かう力・人間性等 | | 自分の役割がわかり、責任をもちながら作業に意欲的に取り組もうとする。<br>教師や友達の声掛けを受け入れ、協力しながら作業に取り組もうとする。 | | |
| 評価規準 | 知識・技能 | | 作業の目的や手順がわかり、見通しをもちながら取り組んでいる。<br>使用する道具の扱い方がわかり、作業内容に応じて安全に正しく使っている。 | | |
| | 思考・判断・表現 | | 作業が終了したら報告をしたり、困った時に相談したりしている。 | | |
| | | | 授業の流れに見通しをもち、友達に協力や支援を求めている。 | | |
| | | | 場に応じた挨拶や返事、お礼を言っている。 | | |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | | 自分の役割がわかり、責任をもちながら作業に意欲的に取り組もうとしている。<br>教師や友達の声掛けを受け入れ、協力しながら作業に取り組もうとしている。 | | |

| 時数 | ねらい | 主な学習内容・学習活動 | 評価場面(方法)と評価規準 |
|---|---|---|---|
| | ・自分が行う作業内容がわかり、適切な作業道具を用意して行動することができる。<br>・作業が終了したら報告をしたり、困った時に相談したりする。<br>・教師や友達の声掛けを受け入れたり自分から声をかけたりして、協力しながら作業に取り組もうとする。<br>・自分の仕事に責任を持ち、活動に取り組もうとする。<br>単元目標と同じ | ○夏野菜の収穫、整備<br>・収穫<br>・包装<br>・除草作業<br>・整備（収穫し終わった野菜の木の処分、土の整備）<br>○倉庫の整理 | ・単元の評価規準と同じ<br>・自分から友達に声をかけている。<br>・友達からの声掛けを受け入れて行動している。<br>・グループリーダーを設定する。 |
| | | ○土作り<br>・耕す<br>・畝づくり<br>○冬野菜の苗や種植え | |
| | | ○花を植える | |

### （４）自立活動（職業）グループ

単元計画表

| 教科等 | 自立活動 | 単元名 | 染物 | | 3名 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 6 |
| 単元目標 | 環境の把握 | | 様々な感覚を活用し、素材に触れ確かめる。 | | |
| | 身体の動き | | 教師の支援を受けながら、体を動かして活動を行う。 | | |
| | 人間関係の形成 | | 自分の意思を周囲の人に伝えようとする。 | | |
| | コミュニケーション | | 一緒に関わる教師を意識しながら活動する | | |

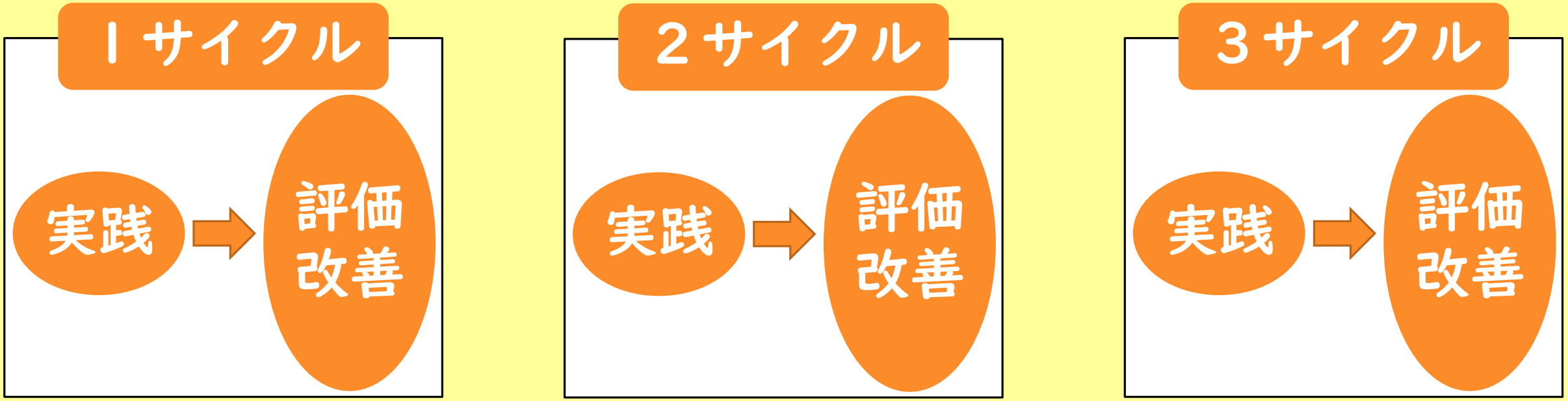
| 時数 | ねらい | 主な学習内容・学習活動 | 評価場面(方法)と評価規準 |
|---|---|---|---|
| 8/31～9/14 | ・様々な感覚を活用し、素材に触れ確かめる。<br>・教師の支援を受けながら、体を動かして活動を行う。<br>・自分の意思を周囲の人に伝えようとする。<br>・一緒に関わる教師を意識しながら活動する。 | ○染物の準備をしよう<br>【素材に触れよう】<br>・マリーゴールド<br>マリーゴールドの感触を確かめながら、枯れた花をとる。<br>・ぶどう<br>感触や匂いを確かめながら、皮をとる。 | ・教師の関わりを受け入れ、手や体を動かして活動を行うようにする。<br>・様々な感覚を活用し、素材に触れる。<br>・素材に興味をもつ。<br>・教師と関わる中で、自分の意思を表現する。<br>・関わる相手を意識する。 |
| 9/21～11/24 | ・様々な感覚を活用し、素材に触れ確かめる。<br>・教師の支援を受けながら、体を動かして活動を行う。<br>・自分の意思を周囲の人に伝えようとする。<br>・一緒に関わる教師を意識しながら活動する。 | ○布を染めよう<br>【布を染めよう】<br>・感触を確かめながら素材に触れる。<br>・素材や道具を選ぶ。<br>・色や道具などを選択し、教師に伝える。<br>・教師の支援を受け入れながら、染物に取り組む。 | ・活動を意識する。<br>・物を見たり、注目したりする。<br>・素材や色を選ぶ。<br>・素材に興味をもつ。<br>・教師の支援を受けながら、手を動かして活動に取り組む。<br>・自分の意思を周囲に伝える。 |

・単元全体の**指導に生かす評価**（児童生徒の学習状況を把握し、それを基に学習を充実させていくための評価）

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

・９月、１０月、１１月の３ヶ月の間に、月に１度検討する日（学部研究日）を設け、実践と評価・改善を３サイクル行った。




・観察や対話による評価方法を採用。
・評価は、研究部から提案した話し合いの観点（目標の設定、活動内容、支援方法、評価規準、次に進むための指導）を参考に行った。

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （１）工芸班

**評価対象生徒①**

質問ができず、一人で作業を進める → 報告や相談ができるようになってきた！

↑ 必要になる言葉を提示し、質問の仕方を繰り返し示す

↑ 教師からのきっかけを与えたりロールプレイをしたりする

**評価対象生徒②**

自分からの発信が少ない → 様々な教師に発信することができるようになってきた！

大きな声を出そうとしたり、友達に自分から働きかけたりする場面も出てきた！

↑ 班長としての役割

↑ 教師からのきっかけ（教師からの声掛け）

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （１）工芸班

〇目標について

・個々の生徒の実態に応じた目標の設定
・目標に合わせた評価基準を、段階を踏みながら設定
・ワークシートを使用した学習内容の確認（知識技能に関する目標）

〇次に進むための指導

・パターン以外の言葉を使えるための指導の工夫
・必要な場面で必要な事柄を伝えるための力を身に付ける指導の工夫

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （２）サービス班

評価対象生徒①②

友達とコミュニケーションをとらずに仕事をしている

二人で作業する場面の設定

教師とやりとりしながら振り返りを行う

コミュニケーションの必要性に気付き、自然にコミュニケーションをとることができるようになってきた！

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （２）サービス班

〇目標について

・長期的な目線で見た、目標の設定

・生徒一人一人の目標の明確化

〇次に進むための指導

・報告や質問の場面や定型文がわかるようなマニュアルの作成

・振り返り活動の、自己評価（◎、〇、△）の基準の設定

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （３）農園班

**評価対象生徒①**

教師の促しがないと、友達に声を掛けない

→

友達に自分から声を掛けて、準備や作業の分担ができるようになってきた！

↑「協力」の理解

↑教師からのきっかけ（教師からの声掛け）

**評価対象生徒②**

教師の促しがないと、友達に声を掛けない

→

繰り返し行ってきた作業で、友達に自分から声を掛けることができた！

↑同じ作業の積み重ね

↑教師からのきっかけ（教師からの声掛け）

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （３）農園班

〇目標について

・細かい実態把握と、それに応じた目標や評価規準の設定

・生徒へのねらいの焦点化と指導の統一

〇次に進むための指導

・作業の意図の説明

・活動前と後での畑の様子の違いがわかるような視覚的支援

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （４）自立活動（職業）グループ

評価対象生徒

様々な素材に興味をもってほしい

素材に注目したり触れたりすることができた！

同じ活動の積み重ね

素材の変化に気付いてほしい

様々な人と一緒に活動してほしい

変化に気付いたり教師の真似をしたりして、様々な教師や生徒とも関わりながら取り組むことができるようになった！

同じ活動の積み重ね

自己選択の場面の設定

# 研究内容及び経過

## ⑤授業実践と評価

### （４）自立活動（職業）グループ

○目標の変遷について

見たり触れたりして素材を確かめる → 染め物に触れる中で素材の変化に気付くことができる

教師の支援を受け入れながら活動に取り組むことができる → 交流校の生徒を意識しながら、一緒に活動を行うことができる

○次に進むための指導について

・わかりやすい方法でわかりやすい選択肢の提示

・自分の行動次第で結果が変わることがわかるような指導

# 研究の成果と課題

## ①成果

### （１）「令和4年度高等部職業Ⅱにおける身に付けさせたい力」の妥当性

・学習指導要領に沿っている部分が多い。
・生徒の実態に合うように、文言を変えながら目標や評価規準に設定。

⬇

・生徒達が、教師がねらった身に付けさせたい力を、身に付けることができたり意識しようとすることができた。
・生徒にとって少し高い目標設定でも、繰り返し行うことで、意識できるようになってきた様子が見られた。

➡ 本校生徒に対して有効であったと考えられる

# 研究の成果と課題

## ①成果

### （２）指導内容と評価規準の妥当性について

〇指導内容の妥当性

（a）自分の課題をより理解していくための工夫

・ロールプレイ、友達や教師との振り返り活動、役割の分担、自己選択

（b）作業班の計画的な目標設定

・１学期の考え方、２・３学期の考え方

➡ 本校生徒に対して有効であったと考えられる

〇評価規準の妥当性

・生徒に応じた目標の設定

・教師間で展開の工夫や活動の精選、指導方針の統一

⬇

・学習内容の明確化

・目標を意識しながらの授業参加

➡ 評価規準は妥当であったと考えられる

# 研究の成果と課題

## ②課題

（１）「令和4年度高等部職業Ⅱにおける身に付けさせたい力」について

・情報活用能力の育成が求められる時代。それに合った表現に改定していく。

・その時代に合った力を見極め、文言を加筆修正していく必要はある。

（２）評価方法について

・評価の基準の設定

・他の授業にも反映

・生徒の行動をより分析できる専門性の向上

・授業力の向上

令和５年度　職業Ⅱにおける身に付けさせたい力（知的）

| | No. | 項目 |
|---|---|---|
| １知識及び技能 | 1 | 正しい身だしなみを知り、衛生に気を付けて作業に適した身だしなみを整える。【身だしなみ】 |
| | 2 | 作業工程、仕事内容、手順など、情報を活用しながら分担箇所を理解し、指示通りに作業する。【工程理解・指示の理解・情報収集能力】 |
| | 3 | 目的に応じて情報手段を適切に選択し、必要な情報を収集・判断・利用する。【情報活用能力】 |
| | 4 | 作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、正確な作業を安定して取り組む。【確実性、持続性、巧緻性、準備片付け】 |
| | 5 | 使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて安全に正しく使う。【道具の扱い、安全】 |
| ２思考力・判断力・表現力等 | 1 | 誰に対しても丁寧な言葉遣いができ、場に応じた挨拶や返事、お礼を言う。【あいさつ・返事・お礼・言葉遣い】 |
| | 2 | わからないことを質問したり、できたことを報告したりする。【質問・報告・連絡・確認】 |
| | 3 | 他者に協力や支援を要請したり、支援やアドバイスを受け入れたりして、協力して作業を行う。【協力・支援要請】 |
| | 4 | 時刻や時間を意識し、行うべきことを判断して実行する。【時間による判断】 |
| ３学びに向かう力・人間性等 | 1 | 働く意欲をもち、積極的に取り組む。【仕事に対する意欲・興味か・関心・期待感】 |
| | 2 | 自分の役割を理解し、役割を果たそうとする態度で取り組む。【責任感】 |
| | 3 | 時間、内容、作業内容などの変更、音、汚れなどに対応して取り組む。【情緒の安定】 |
| | 4 | よりよい製品づくりやサービスへの意欲をもち、具現化するための手段を考察する。【創意工夫】 |

令和５年度　職業Ⅱにおける身に付けさせたい力（重複）

| | No. | 項目 |
|---|---|---|
| １知識及び技能 | 1 | 提示されたものに気付き、見たり触ったりしながら、素材の感触を受け入れる。 |
| | 2 | 触る、叩く、引くなどの動きで素材に触れながら活動する。 |
| | 3 | 指差しやサイン、声掛けを聞きながら、活動に取り組む。 |
| | 4 | 活動内容がわかり、継続して取り組む。 |
| | 5 | 写真やイラスト、手順表などの資格情報を手掛かりに活動内容を知り、道具や器具を扱いながら取り組む。 |
| ２思考力・判断力・表現力等 | 1 | 素材に気付き、手を伸ばして関わる。 |
| | 2 | 快不快などの感情を、表情や身振りで表現して伝える。 |
| | 3 | 表情や発声、手を伸ばすなどの動きで活動を選択する。 |
| | 4 | 達成感を感じながら活動する。 |
| | 5 | 手順や道具の操作を自分なりに工夫して取り組む。 |
| ３学びに向かう力・人間性等 | 1 | 体調や気持ちを安定させ、継続して活動に参加する。 |
| | 2 | 教師や周囲の人からの関わりを受け入れながら活動に参加する。 |
| | 3 | 好きなものを見つけ、活動に興味関心をもちながら継続して取り組む。 |
| | 4 | 作業に対する達成感を感じ、周囲の人と楽しさを共感しながら継続して取り組む。 |